

報文発表時間割(2日目 6月3日)

B会場「2階 芙蓉の間(東)」					C会場「2階 芙蓉の間(中)」					D会場「2階 芙蓉の間(西)」							
発表時間	課題	番号	報文名	発表者	所属	発表時間	課題	番号	報文名	発表者	所属	発表時間	課題	番号	報文名	発表者	所属
8:50 ～ 9:05	一	①	人力で行う舗装補修に特化した床版防水材の開発について	鈴木 岳	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	8:50 ～ 9:05	二	⑥	北陸SIP「舗装の維持管理の効率化・高度化」への取り組み	北添 慎吾	福田道路(株)技術研究所	8:50 ～ 9:05	六	①	指向性スピーカを活用した建設現場の安全性向上に寄与する注意喚起装置の開発	内山 智史	鹿島道路(株)
9:05 ～ 9:20	一	②	廃PET変性ポリエステル樹脂の北海道型SMA舗装への適用検討	橋本 良一	花王(株)テクノケミカル研究所	9:05 ～ 9:20	二	⑦	橋面舗装の切削残存層上に使用するレベリング用アスファルト混合物に関する研究	大谷 捷人	長岡技術科学大学	9:05 ～ 9:20	六	②	健康増進に寄与したウレタン系薄層弾性舗装の開発	小高 拓海	日本道路(株)技術研究所
9:20 ～ 9:35	一	③	写真測量技術によって取得したひび割れ部欠損量によるフォグシール工法の定量的評価手法に関する検討	松本 第佑	(国研)土木研究所寒地土木研究所	9:20 ～ 9:35	二	⑧	移動式たわみ測定装置(MWD)を用いた実道での測定(2時期測定の実例)	根津 孝文	(国研)土木研究所	9:20 ～ 9:35	六	③	長野県伊那市における安全な通学空間管理のDX社会実験	エイエイウエ	大成ロテック(株)技術研究所
9:35 ～ 9:50	一	④	寒冷地に対応したひび割れにくいアスファルト舗装	畑山 良二	福田道路(株)技術研究所	9:35 ～ 9:50	二	⑨	青森県におけるポットホールの抑制を目指した薄層表面処理工法	王 斌輝	ニチレキグループ(株)技術研究所	9:35 ～ 9:50	六	⑤	数種類の廃プラスチック材を混合したアスファルト混合物の一考察	西園 雄太	北川ヒューテック(株)技術研究所
9:50 ～ 10:05	一	⑤	石川県におけるアスファルト舗装の長寿命化への取り組み	池田 省吾	ニチレキ(株)北陸支店	9:50 ～ 10:05	二	⑩	トンネル内コンクリート舗装のFWDによる健全度評価と修繕方法の検討	日東 義仁	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	9:50 ～ 10:05	六	⑥	フォームドアスファルト技術を用いた中温化混合物による初転圧前温度の低減に関する検討	末原 俊史	(株)NIPPO技術研究所
10:05 ～ 10:20	一	⑥	積雪寒冷地における供用初期の普通コンクリート舗装注入目地材に対する現地調査結果	上野 千草	(国研)土木研究所寒地土木研究所	10:05 ～ 10:20	二	⑪	コンクリート舗装の破損で生じる破片の飛散やひび割れの進行を抑制する応急補修工法の耐久性について	木谷 寛	世紀東急工業(株)技術研究所	10:05 ～ 10:20	六	⑧	北陸舗装地域とともに循環型社会に貢献し、道路舗装業界のカーボンニュートラルを実現する	陣内 太	田中铁工(株)
休憩(10分)																	
10:30 ～ 10:45	一	⑦	アスファルト層の下面補強に寄与するジオテキスタイルの開発	松本 七保子	三井化学産資(株)	10:30 ～ 10:45	二	⑫	車載型録画装置を活用した路面性状の測定と検証に関する報告	池田 直輝	大成ロテック(株)	10:30 ～ 10:45	八	①	フォームド技術を用いたアスファルト合材の広域安定供給の検証	文 常準	(株)NIPPO技術研究所
10:45 ～ 11:00	一	⑧	液状化被害を抑制するCAE 路盤材料の適用範囲拡大に向けた開発	土川 真一	前田道路(株)技術研究所	10:45 ～ 11:00	二	⑬	機械学習を用いた上層路盤の損傷判別モデル検討	尾谷 力	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟	10:45 ～ 11:00	八	②	セメント・アスファルト乳剤安定処理路盤の耐震性に関する検討	坂本 凌	ニチレキグループ(株)技術研究所
11:00 ～ 11:15	一	⑨	コンクリート舗装用注入目地材の要求性能の検討に向けた積雪寒冷地での試験施工について	大場 啓汰	(国研)土木研究所寒地土木研究所	11:00 ～ 11:15	六	⑭	水素燃料を利用したアスファルトプラント用バーナの開発	田中 翔太	日工(株)	11:00 ～ 11:15	八	③	3D計測データを活用した能登空港災害応急復旧	坂本 吉広	北川ヒューテック(株)技術研究所
11:15 ～ 11:30	一	⑩	高耐久上層路盤用混合物の厚層施工の実例報告	池田 幸平	中日本高速道路(株)金沢支社	11:15 ～ 11:30	六	⑮	フォームドアスファルト技術の適用事例と課題解決に向けた取り組み	菅原 紀明	(株)NIPPO北信越支店	11:15 ～ 11:30	八	④	令和6年能登半島地震におけるNEXCO中日本金沢支社管内の被災状況および災害対策工事等に関する報告	久保嶋 悠太	中日本高速道路(株)金沢支社
11:30 ～ 11:45	一	⑪	耐流動性、疲労抵抗性に優れた高耐久アスコンの開発	相川 宗	大成ロテック(株)技術研究所	11:30 ～ 11:45	六	⑯	施工管理温度が50℃低下した場合でも品質が確保できる中温化技術の開発と施工事例	嶋田 泰丈	大成ロテック(株)技術研究所	11:30 ～ 11:45	八	⑤	令和6年能登半島地震における舗装の被災状況について	関島 拓夢	北陸地方整備局能登復興事務所
11:45 ～ 12:00	一	⑫	国道18号と高速道路ランプ接続区間における高耐久材料を用いた舗装修繕の施工事例	古川 蒼空	北陸地方整備局高田河川国道事務所	11:45 ～ 12:00	六	⑰	水原バイパスの中温化混合物を用いた舗装施工について	近 崇明	北陸地方整備局新潟国道事務所	11:45 ～ 12:00	八	⑥	能登自動車道災害復旧におけるプレキャスト踏掛版の採用について	竹中 大輝	北陸地方整備局能登復興事務所

課 題 名		
一	舗装の長寿命化に関する技術	四
二	舗装の点検・維持修繕に関する技術	五
三	i-Constructionに関する舗装技術	六
七	舗装に関する再生利用技術	八
八	能登半島地震など災害対応に関する技術	九
九	その他舗装の調査・設計、施工、材料に関する技術	